



---

# IAF活動報告

公益財団法人 日本適合性認定協会  
認定センター

# 報告項目

---

- IAFの活動
- MLA(相互承認 Multilateral Recognition Arrangement)の状況
- IAF2016総会、TC(技術委員会)での主な議論



# IAF (International Accreditation Forum)

## 国際認定フォーラム

---

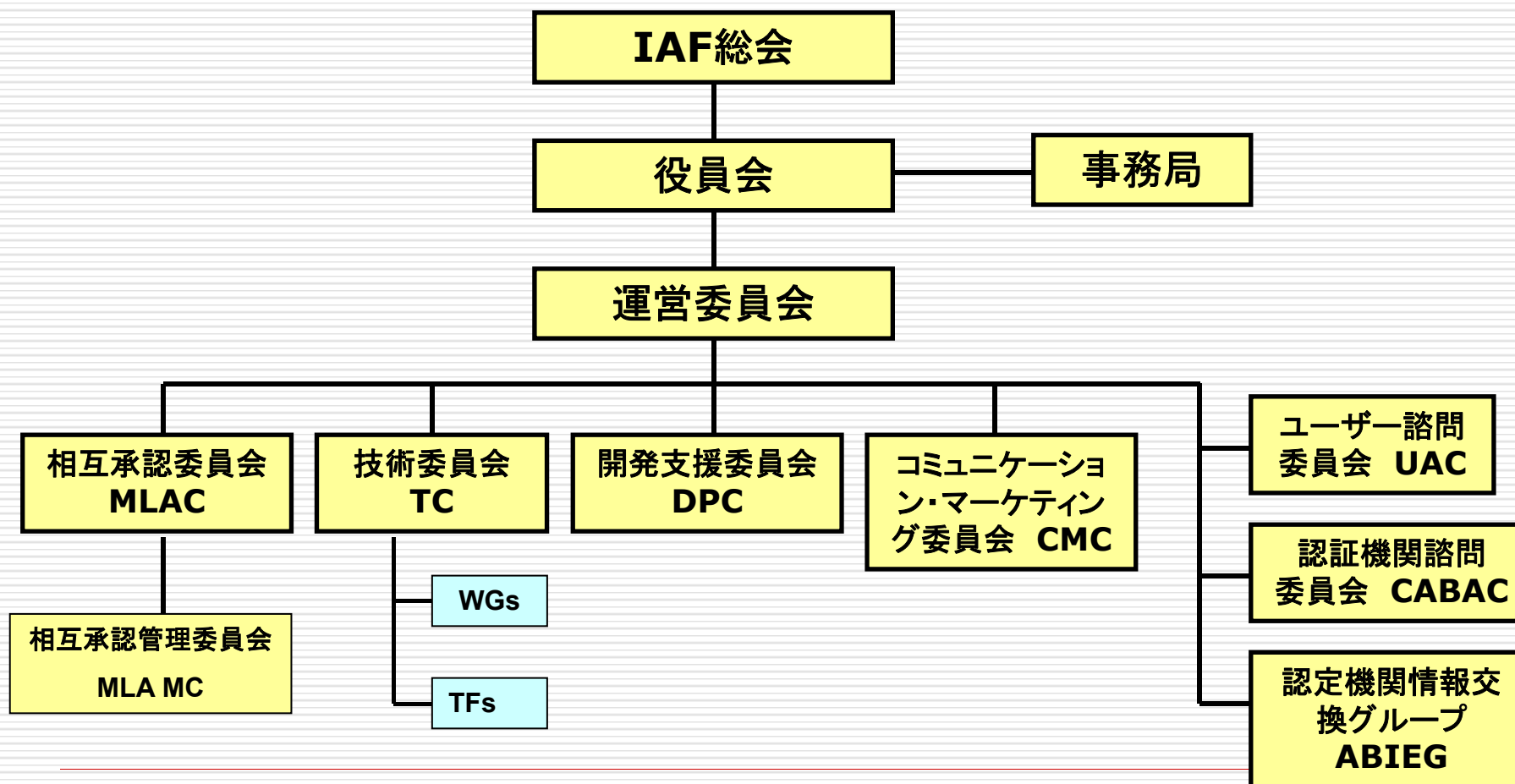
- 1993年発足
- 適合性評価を認定する機関および関係機関の国際組織
- マネジメントシステム認証、製品認証、要員認証、GHG妥当性確認/検証等の分野を取り扱う。
- 目的
  - 業務にふさわしい能力を持ち、利害の抵触がない認証機関のみを認定する。
  - 認定機関間の技術的レベルを整合し、相互承認(MLA)を行う。

# IAFメンバー

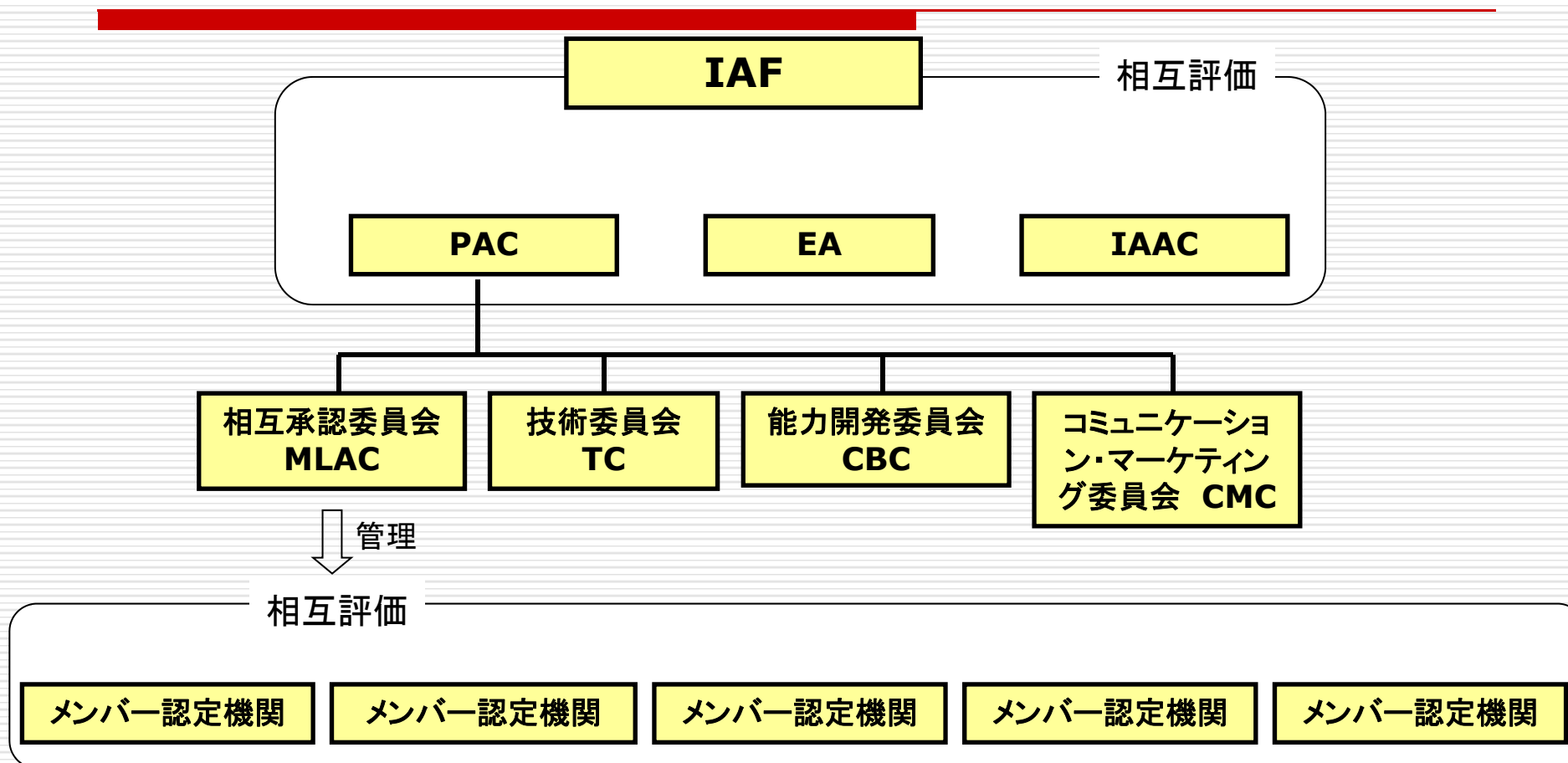
---

- 6地域グループ
  - AFRAC(アフリカ)、ARAC(アラブ諸国)、IAAC(南北アメリカ)、EA(ヨーロッパ)、PAC(太平洋地域)、SADCA(南アフリカ)
  
- 認定機関メンバー
  - 78機関。うち63機関がMLAメンバー
    - 新規にMLA加入:ブルガリア、イラン
  
- 関連団体メンバー
  - 18機関。認証機関、産業団体、スキームオーナー等
  
- 協力関係: ISO、ILAC(国際試験所認定協力機構)など

# IAFの組織構造



# IAF及び地域グループによるMLA(相互承認)の管理



PAC: JAB, JAS-ANZ  
EA: UKAS, RvA, DakkS  
IAAC: ANAB

# MLA 相互承認: Multilateral Recognition Arrangement ~5層の区分

レベル1	認定機関に対する要件: ISO/IEC 17011	
レベル2	認定活動の種類: MS認証、製品認証、要員認証、GHG妥当性確認/検証	<b>メインスコープ</b> ● 適合性評価機関による証明が同等に信頼(equally reliable)できる
レベル3	認定基準: ISO/IEC 17021-1(MS)、ISO/IEC 17065(製品) ISO/IEC 17024(要員)、ISO 14065(GHG)	
レベル4	レベル3基準の適用のための分野特有の基準: ISO/IEC 17021-2(EMS)、ISO/IEC 27006(ISMS)、ISO/TS 22003(FSMS)など	<b>サブスコープ</b> ● 適合性評価機関による証明が同等(equivalent)である
レベル5	適合性審査に用いられる基準: ISO9001, ISO14001, ISO13485, ISO 22000, ISO/IEC27001, 製品規格(GlobalGAP)など	

## IAF MLAの範囲

	認定活動の種類			
	マネジメントシステム	製品	要員	GHG
メインスコープ (レベル3)	ISO/IEC 17021-1	ISO/IEC 17065	ISO/IEC 17024	ISO 14065
サブスコープ (レベル5)	ISO 9001 ISO 14001 ISO 22000 ISO/IEC 27001 ISO 13485	Global G.A.P.		



## 各地域グループのIAF MLAの範囲 (2016年11月現在)

	マネジメントシステム					製品		要員	GHG
	QMS	EMS	FSMS	ISMS	MDQMS	—	GGAP		
EA	○	○	△	△	△	○	○	○	△
IAAC	○	○	△	△	△	○	○		
PAC	○	○	○	○		○	○	△	△

△:申請済又は評価中

JABがMLA承認されている範囲: QMS, EMS, FSMS, ISMS, 製品(GGAP除く), GHG



# IAF MLAの広がり

---

- IAF MLAの対象
  - 公共の規格/基準文書
    - ISOなど。規制要求事項も対象
    - 2016年総会で、エネルギーマネジメントシステム (ISO/IEC 17021-1, ISO 50003, ISO 50001)を MLAに含めることを決定
  - 民間のセクタースキーム
    - スキームオーナーの申請に基づき、スキームを評価し、IAF MLAに含めるかどうかを決定
    - 現時点でGlobal G.A.P.がMLAの対象

# IAF MLAの広がり

---

- セクタースキームをIAF MLAに含める動き
  - GFSI
    - 2014年2月GFSIより承認スキームをMLAに含めるよう申請(2014年2月)
    - GFSIの承認プロセスを評価し、GFSI承認スキームをIAF MLAに含めることができるかどうかの評価を終了
    - GFSI承認スキームのオーナーからの申請可能
  - IPC
    - 2015年10月に申請
    - スキームの評価を実施中
  - FAMI-QS
    - 2016年4月に申請
    - スキームの評価を実施中

# IAF2016総会での主な決議事項

---

- ISO/IEC 17021-2:2016への認定の移行
  - TS 17021-2:2012からの認定の移行を2016年版発行(2016年12月1日)より2年とする
  
- ISO 45001への認証の移行
  - 認定を受けたOHSAS 18001:2007認証をISO 45001認証に移行する期限を、ISO 45001発行後3年とする。
  
- IAF MD 19の適用日の延長
  - 1年延長し、2018年3月31日とする

# IAF2016総会での主な決議事項

---

- 認定されたマネジメントシステム認証文書
  - MS認証文書が認定されているとみなされるために、認定シンボル及び/又は認定機関の特定を含む認定状態の参照を示さなければならない。
    - 再認証時に認証文書の上記への移行を行う(2019年11月6日より前に)
    - 2016年11月6日以後に新たに認定された場合、非認定の認証文書を認定後1年以内に移行させる
    - 全てのMSに適用

# IAF2016総会での主な議論

---

- IAF Consistency Forumの開設
  - リンクトインを使い、メンバー間に議論の場を提供。「不一致」に関する質問ができる。
  - 「不一致」が当事者で解決できない場合、質問を行う。
  - IAF TCメンバー機関の代表者に参加登録案内

# IAF2016総会での主な議論

---

- 認定を受けたマネジメントシステム認証のデータベース
  - ISOでのデータベース作成計画が中止されたことをうけ、IAFで構築のための委員会を結成
  - 専門のコンサルタントを雇い、詳細を詰める予定

# IAF TC (技術委員会)

---

## □ 活動

- IAF文書の開発/維持/改訂を行う。適合性審査を一貫性のあるものにすることを目的
- 必要なIAF文書を開発するために、関連する利害関係者のグループを形成する
- IAF外での認定規格やその他類似文書の開発をモニターし、IAFとして考慮あるいは開発に参加するかどうかを決める
- IAF相互承認の運用から生じた問題を含め、IAF文書の適用に関する推奨を行う

## □ 年2回開催

- 総会開催時およびTC会議のみ
- タスクフォース/ワーキンググループ会議および全体会議

## TCでの主な議論

---

- 認定審査員の力量
  - IAF MD20(認定審査員の力量に関する基準文書)
    - 適用日:2018年3月25日
    - 適用に関するワークショップを実施
    - MLAのための相互評価をどのように行うかを検討するTFを設置
  - 要員認定審査員に関する力量基準
    - 要員認証機関の認定審査に必要な力量基準を開発するための作業を開始



## TCでの主な議論

---

- MD1とMD19
  - 両文書を合体し、複数サイト組織の審査に関する基準文書を作成中
  - MD19の適用日を1年延長(2018年3月31日)
  
- OHSAS18001からISO 45001への移行
  - IAF基準文書を作成中
    - OHSAS認証からISO45001認証への移行に関し、認定の有無に応じたシナリオ
  
- 移行に関する規定
  - 認定/認証の移行に関する基準文書を開発中
  - 全般的な方針、移行プロセス、タイムラインなどを規定

## TCでの主な議論

---

- IAF文書の見直しが進行中
    - MD2(認証の移転)
      - これまでの運用で見出された問題点に対応
    - MD4(CAAT)
      - 最新技術を考慮
    - MD8/9(医療機器QMS)
      - 範囲分類の追加: パーツ/サービスの提供
-